2023/06/23
デジタルマーケティング企画室/第 3 システム部

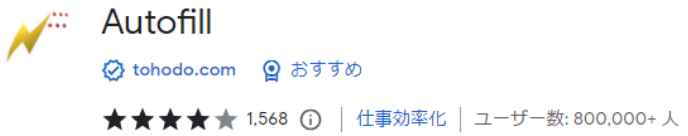
申込書フォームで入力内容を保存する方法

https://www.webjapan.co.jp/moushikomi/　先の一覧ページに掲載されている各申込書ページは、ブラウザのメモリ機能を活用して入力した値を保持している為、ブラウザを閉じたり読み込み直しをするとデータが消えてしまいます。

そこで、下記でご紹介する Google Chrome の拡張機能を利用することで、一度入力した内容を保存して、後から呼び出すことができるようになります。

▼必要環境

対応ブラウザ	Google Chrome のみとなります。
機能拡張　名称	Autofill



▼Chrome ウェブストア「Autofill」ページ（インストール用ファイル）
https://chrome.google.com/webstore/detail/autofill/nlmmgnhgdeffjkdckmikfpnddkbbfkkk?category=app/5-lifestyle&hl=ja

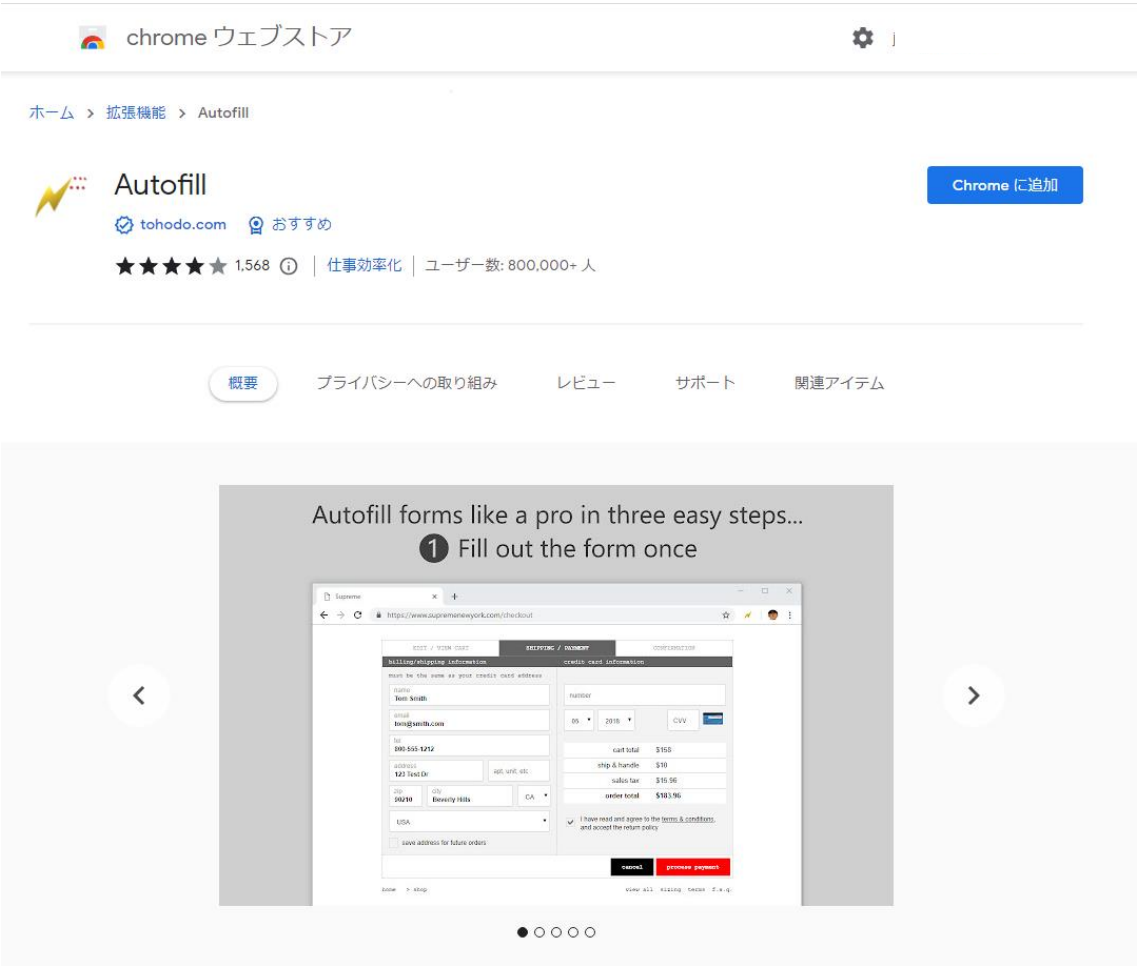
▼参考記事：Chrome 拡張機能「Autofill」紹介ページ
https://miya-system-works.com/blog/detail/52

■インストール方法

※対応しているブラウザは、Google chrome のみとなりますのでご注意ください。

1）ブラウザから、下記 URL のページを開きます。
https://chrome.google.com/webstore/detail/autofill/nlmmgnhgdeffjkdckmikfpnddkbbfkkk?category=app/5-lifestyle&hl=ja

2）すると、下記の chrome ウェブストアページが開きますので、右上の「chrome に追加」ボタンを押して「Autofill」機能拡張をインストールして下さい。



■Chrome 拡張機能『Autofill』の使い方

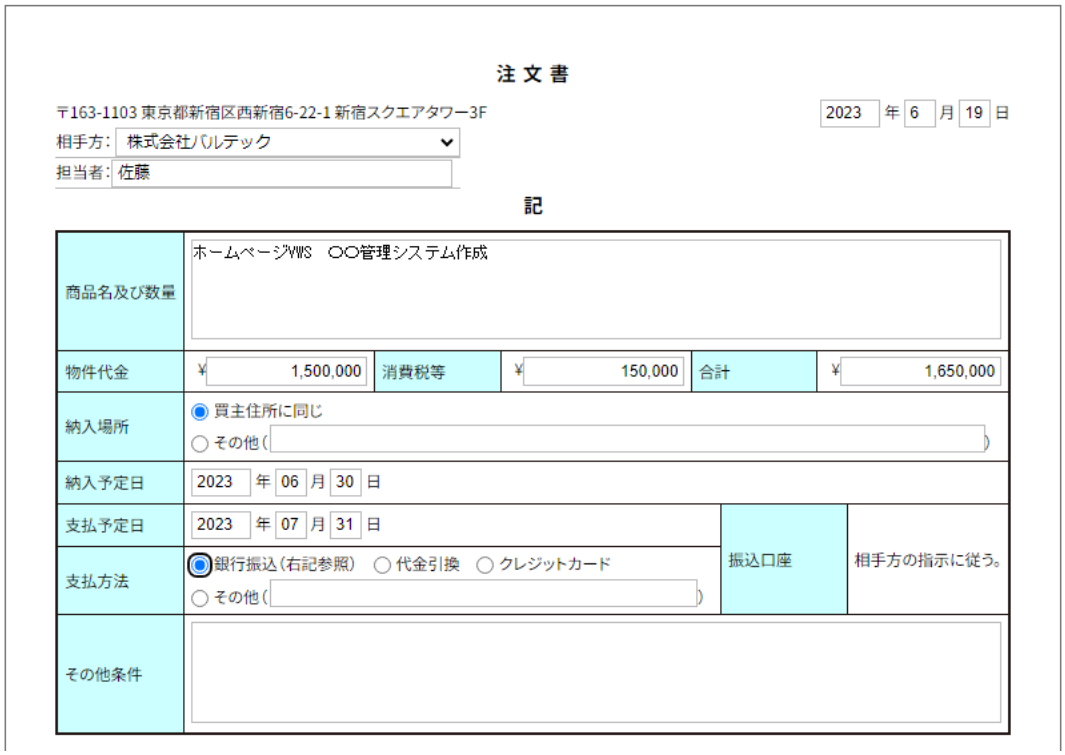
基本的には WEB フォームの内容を『保存する』事と『読み込む』事がこのツールの主な使用方法になります。
Autofill を使ってフォームの内容を保存するためには、次の流れで作業を行います。

▼フォームの内容を保存する手順

（1）WEB ページを開いてフォームに入力を行う
（2）カミナリマークのアイコンを押して Autofill のメニューを開く
（3）『Generate Autofill Rules』を押してフォームの内容を保存する

▼保存方法について

1）　先ずは、希望する申込書ページを開き、内容を保存したいフォームに入力を行いましょう。（※下の図はイメージです）



注 文 書

〒163-1103 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー3F　　2023 年 6 月 19 日
相手方：株式会社パルテック
担当者：佐藤

記

商品名及び数量	ホームページWS　〇〇管理システム作成				
物件代金	¥ 1,500,000	消費税等	¥ 150,000	合計	¥ 1,650,000
納入場所	◉ 買主住所に同じ ○ その他（　）				
納入予定日	2023 年 06 月 30 日				
支払予定日	2023 年 07 月 31 日	振込口座	相手方の指示に従う。		
支払方法	◉ 銀行振込（右記参照）　○ 代金引換　○ クレジットカード ○ その他（　）				
その他条件					

2）　入力が終わったら、Chrome の右上にある『カミナリマーク』のアイコンを押します。

3）　アイコンを押すとアドレスバーの下あたりに『Autofill』のメニューが開きます。

4）そしてここで『③Generate Autofill Rules』を押すと、『Done』の表示とともにフォーム内容が保存されます。

5）保存したフォームの内容を読み込む

基本的に『Autofill』では、フォームの内容を保存したページを更新すれば、次回以降で保存した内容が自動で反映される様になります。
また、カミナリマークのアイコンに色がついていない時は、アイコンを押す事で『Autofill』を有効にし、フォーム内容を読み込めるようになります。

■フォームの内容を個別に保存して管理する場合

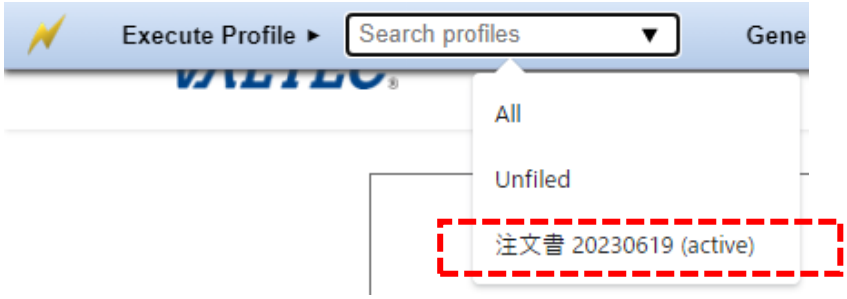
１）まず、「Generate Rules」を押します。すると以下のようにメニューが出てきますので、「Choose a Profile:」のプルダウンから「New…」を選択します。

２）すると、以下のような入力欄が出てくるので、任意の名前を入力して「OK」を押して入力内容を保存し、❸ Generate Autofill Rules をクリックします。これを「プロファイルを保存」と言います。
（例：申込書名　日付もしくは受注番号　など）

再び『New...』を押せば、その都度、新しいプロファイルを作成する事もできます。ちなみに、デフォルト状態では『Unfiled』という保存名になっています。

■保存したプロファイルを呼び出すとき

１）メニューバーの「Execute Profile」をクリックすると、先ほど保存したプロファイル名が出てきますので、それを選択します。



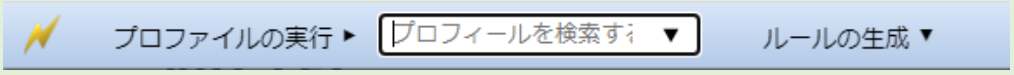
そうすると、そのときに保存しておいた入力値が反映された状態で表示されます。

ブラウザを閉じたり、読み込み直しをしても消えませんので、何度でも
呼び出すことが可能です。もちろん、複数保存しておくことも可能です。

【ヒント】

メニューバーの上で右クリックして「日本語に翻訳」を押すと、メニューが日本語に翻訳されます。英語メニューが分かりにくい場合は、試してみて下さい。

※下記のように日本語に翻訳されます。



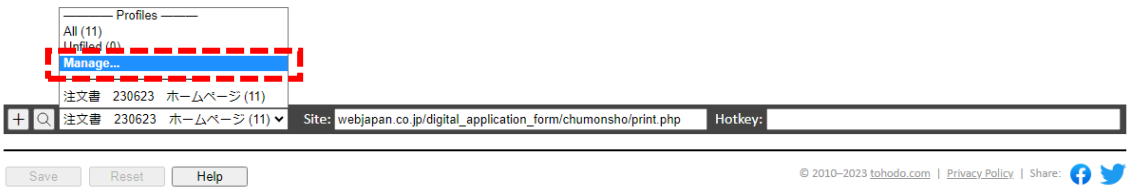
■フォームの細かな管理を行う

Autofill ではプロファイルごとにフォーム項目の細かな管理が出来る様になっています。

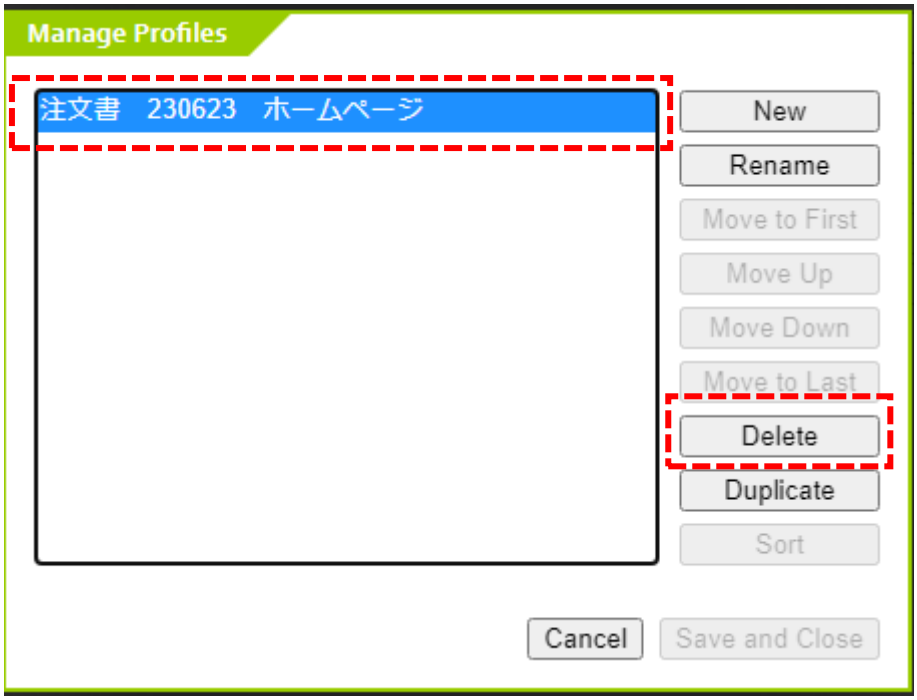
メニューバーの一番左にある「カミナリマーク」のアイコンを右クリックして『オプション』を開けば、メニューを表示する事ができ、この画面を通してフォーム項目の編集や削除などの各種操作が出来ます。

▼編集画面
この画面にはフォームの各入力値が表示されていて、編集が可能。

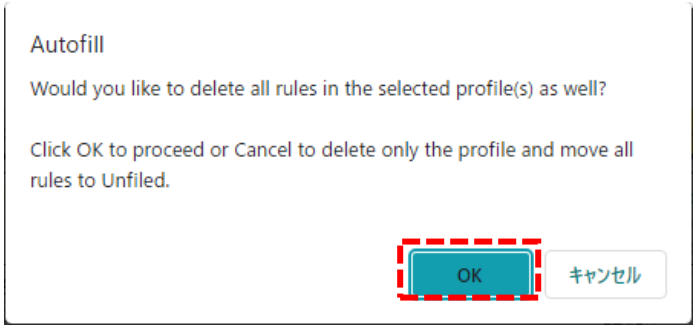
▼保存したプロファイルの削除方法
1）同じ編集画面の、一番最下部の左にある「プロファイル名」欄をクリックして、プルダウンの中にある「Manage…」をクリックすると、ポップアップが表示されます。



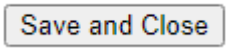
2）ポップアップ画面の中で、削除したいプロファイル名を選択した状態で「Delete」ボタンを押して下さい。



3）本当に消してよいか警告文が表示されますが、「OK」を押します。



4）最後にポップアップの右下の「Save and　Close」ボタンを押せば、削除完了です。



■その他注意点

この機能は、開いているすべてのフォームの内容を保存してしまいます。
普段のブラウザ操作の時など、意図しないタイミングで Autofill が動作して欲しくない時も多いと思います。

もし利用したくないときは、機能拡張を「OFF」にしておくと誤動作を防げます。

何かの拍子に誤った情報を登録してしまわない様にするためにも、拡張機能の ON／OFF は管理できる様にしておくのがおススメです。

1）雷アイコンの上で、右クリックして「機能拡張を管理」を選択します。

2）トグルを切り替えれば Autofill の機能を OFF にすることが出来ます。